

2013年（平成25）年 金沢大学法学類入学者選抜試験（後期日程）

小論文問題、出題趣旨及び講評

（2013年3月12日9時30分～11時30分実施）

問題

次ページ以下の文章は、猪木武徳「倫理的消費とは何か」（CEL98号（2012年）3ページから9ページまで）を一部修正・省略の上引用したものである。よく読んで、次の問いに答えなさい。

問1 下線部①において「人間の消費行為の倫理性を問うことには重要な意味が含まれている」と筆者は述べている。個人の消費行為が社会的な問題となるのはなぜか。具体例を挙げながら500字以内で説明しなさい。

問2 下線部②において筆者はなぜ「消費」と「投資」を区別し、消費の量を確定することが現実には困難であると述べているのか。学校教育を例に挙げながら400字以内で説明しなさい。

問3 下線部③のように筆者が考える理由を200字以内で述べなさい。

問4 下線部④で述べられているように、倫理的な消費を習慣化するために、国家は今後どのような役割を果たしていくべきか。倫理的な消費が問題となる具体例を2つ挙げながら、あなたの考えを700字以内で述べなさい。

【問1について】

<出題の趣旨>

課題文の指定した範囲について、著者の記述の論理構造と趣旨を正確に理解すると同時に、それを的確にかつ正確に文章で表現することができているかどうかを見極めることが目的です。

<解答例>

「消費は単独の人間の自由な選択に全面的にゆだねられるべきではない。なぜなら、一人の人間の消費行為の行動は、同じ時代の他の人間の幸福に影響を及ぼすだけでなく、後の世代の人々の幸福をも左右するという公共的な性格、ある

いは経済学でいうところの「外部性」をももつからである。このような社会的倫理問題となる個人の消費行為として具体的に、以下の3つの場合が考えられる。

(1) 誰の目から見ても悪趣味の一語に尽きる構造物を建て、あるいは広告看板を出して、近隣住民から即時撤去や取り外しの運動を起こされること。(2) 濫獲や過剰消費によって、神から与えられたこの世の恵みを一つの時代、一つの世代の人間が独占的に消費してしまうという非倫理的行為。(3) 市場とデモクラシーを通して多くの社会が経験してきた画一化の浸透によって、少数派の選択の自由が狭められ、あるいは失われてきた場合である。」(380字)

<講評>

消費行為の公共的な性格または「外部性」についての記述がポイントであることを押さえることが重要です。記述の論理構造と趣旨は比較的把握しやすいように思われます。具体的な説明の文章と繰り返しの文章が多いですが、論理的に整理すれば解答が出てきます。ただし、論理的に整理されておらず、記述が不正確な答案や混乱した答案が比較的散見されました。

【問2について】

<出題趣旨>

下線部②部分について、筆者の定義する「消費」とその対概念である「投資」の相互関係が、実際の消費の量の確定を困難にしていることを理解できるかを問うものです。

<解答例>

「消費とは、「現在の満足」のために財や用益を使い尽くす行為をいう。

しかし、多くの経済活動は、「消費」の他に、将来的な資本増加を目的として、現在の資本を投じる活動である「投資」としての性質をも備える。

たとえば、学校教育は、新知識獲得の喜びや友人との交流という「現在の満足」をえられるという点に着目すると、「消費」として理解できる。

しかし、学校教育には、知識の充実による将来のより深い満足に寄与する側面もあり、この場合、学校教育は、現在の消費であると同時に将来への投資としての性質をも有している。さらに、学校教育による知識や技能の習得は、生産活動の向上、あるいは将来の所得の増加への「投資」でもあるのである。

そしてこのような、経済活動における「消費」と「投資」の二面性が原因となって、一見するときわめて明確な概念のように見える消費について、その量を実

際に確定することが困難になっているのである。」(396文字)

<講評>

まず、課題文中の示されている筆者の提示する理論上の消費概念を明確にする必要があります。次いで、学校教育の消費としての側面と、投資としての側面についての具体例を挙げ、現実の経済活動の消費と投資の二面性を明らかにできたか否かが問われます。そして最後に、こうした経済活動の二面性が、現実の消費量の確定を困難とする原因となっているとの結論を導き出す必要があります。

筆者の提示する理論上の消費概念を明確に提示する答案が多くみられました。

【問3について】

<出題趣旨>

下線部③を含む課題文6頁11行目から同7頁20行目までの趣旨を正確に理解したうえで、規定文字数の範囲内で要約する能力があるか確認するための問題です。

<解答例>

「供給者である企業は、従来品に新しい機能を搭載した商品を発売することによって、これまで消費者側に存在しなかった需要を創出する一方で、消費者が何を望み、どのような商品であればヒットするかの予測に基づいて商品を提供したり、消費者の無意識下にある潜在的な好みや需要を呼び覚ましたりすることによって、消費者が自分でも気付かなかった欲望を刺激し、現実の購入活動へと駆り立てるから。」(184字)

<講評>

供給側が以下の諸手段を用いて消費者の購入活動を喚起していることを述べる必要があります。①従来品にはない新機能を付加した商品の広告やこれを伝える報道、②消費者の将来抱きうる需要の予測、③消費者の潜在的ないし無意識的な好みや需要の刺激。大半の答案は②③に言及していましたが、①についてはなかなか触れることができなかつたようです。②③に吸収できると考えたのかかもしれません。しかし、①は、従来品をすでに所有している消費者であっても、「新規性」を備えた従来品に引き付けられるという趣旨なので、②③とは一応区別すべき事柄というべきでしょう。

【問4について】

<出題趣旨>

課題文の内容を適切に理解した上で、課題文の論旨を具体的問題に応用する論理的能力と的確な論述能力を問うものです。

<解答例>

「消費は個人が自らの判断に基づいて行う行為である。このため、国家が果たす役割は、情報提供や基本的な制度枠組みの設定など倫理的な消費を習慣化するために個人に対して間接的に働きかける活動が中心となる。

第1の例として、海洋資源の保護に関わる対応を挙げることができる。まぐろなどの海洋資源の漁獲量を各国の需要の増加に対応して増大させることは、将来の漁獲量を減少させ、持続的な海洋資源の利用を困難にすることが知られるようになってきた。貴重な海洋資源を将来世代に引き継ぐためには、漁獲量や漁獲を行う時期について国家が法律で規制を行うとともに、海洋資源管理の重要性について情報提供を行い、消費者の理解を促す必要がある。また、遠海で採れる魚などの海洋資源の管理は、漁業を行うさまざまな国との協力が必要であり、国際条約や国際協定を通じて資源管理を実施する必要がある。このような国際的な取り組みを推進するためには、特定の魚を他国から独占的に買い上げるような消費のあり方についても見直すことが必要になるだろう。

第2の例として挙げられるのは、環境保護に関わる情報提供である。個人が生活のあらゆる側面に関連して、どのような製品やサービスが環境に高い負荷を与えているかについて情報収集を行うことは困難である。環境負荷の低い製品などについて国家が情報提供や教育を行い、市民の理解を促すことで倫理的な消費を習慣化することが容易となるであろう。

以上のように、消費者に対する情報提供や国際的なルール作りなど個人では対応できない問題に対処することは、倫理的な消費を確立するために国家が果たすことができる役割であるといえる。」(691字)

<講評>

設問は、消費という個人の行為に対して、国家がどのように関わるかが可能かを問うものであり、この点を適切に理解し、論述されているかが第1のポイントとなります。倫理的な消費について個人の自覚を強調するものや国家の役割は必要ないとする答案が散見されました。第2のポイントとして、倫理的な消費が問題となる具体例を示しているかが問題となります。設問に関連した事例が

示されていない場合や、倫理的な消費という観点から見て適切といえない事例が示されている場合には高い評価を行うことはできませんでした。